

ささえあい、会報 第78号

2020.12.18

年末年始特別号



ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟

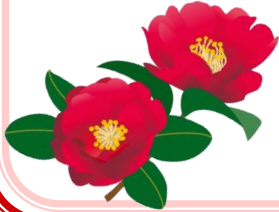
〒950-2026 新潟市西区小針南台 3-16
(JR 小針駅前「葡萄の木」)

発行

TEL : 025-378-6181 FAX : 025-230-6680
HP : <http://www.sasaeai-coop.com/>

E-mail : seikyou-jimukyoku@sasaeai-coop.com

※この会報は組合員様向けに発行しています



寒さに耐え花を咲かす
山茶花の花言葉は、困難
に打ち勝つです

～新年(創立15周年)を迎えて～

今こそ「心の距離」を近づけて、共に地域づくりを進めよう!

理事長 高見 優



昨年(2020年)は、新型コロナウイルス感染症や災害の多発などで社会に不安と混乱をもたらし、私たちの事業現場でも役職員、利用者家族、関係者の間で情報共有しつつ緊

張感をもって過ごしております。皆さんも、引き続き細心の注意を払ってください。

一方、年末(12/4)に労働者協同組合法が成立したというニュースは、私たちに明るい希望と勇気を与えてくれました。関係者の長年の努力に敬意を表し共に喜びたいと思います。

人間にとって、3分、3日、3週間という時間内に無ければ命とりとなるものは何かといえば、それは、①空気(酸素)、②水、③食べ物ですね。確かにこの3つは生きていくために無くてはならないものです。

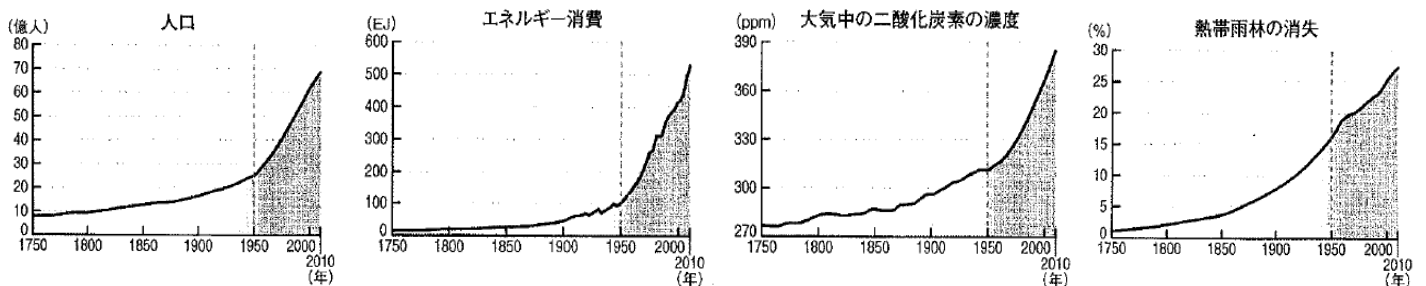
しかし、これだけ文明が発達し豊かな社会になったのに、①はコロナウイルス等に、②は水害や放射能等に、③は社会的格差・貧困や戦争等により、安心して安全に入手できない人々が激増しています。

これは一体どういうことなのか? 当生協創立15周年の機に、私たちの事業・活動・組織を振り返るとともに、この社会・今の時代をも見つめ直したいと思えます。

斎藤幸平さんは、今の時代を「人新世(ひとしんせい)」と名付け、人類が地球を破壊しつくす時代だと言います。そして、気候変動やコロナ禍など…文明の崩壊の危機の解決策を提示しています。(『人新世の「資本論」』、集英社新書)。

下図(同書24頁より)をご覧ください。

(図)「人間活動と地球システム」(左から、人口、エネルギー消費、CO2、熱帯雨林の消失の推移)



次ページへ続く ⇒

いずれも、最近数十年の間に、急激に増加し続けています。その加速度成長を止めなければ取り返しがつかない。だから齋藤さんは、コントロール不能に陥っているシステム（社会のあり方）を抜本的に変え、成長を止めよう（脱成長）、一部の者が不当に独占しているものを、将来世代や自然に配慮してコモン（みんな・社会のもの）に取り戻したほうが社会は豊かになると主張し、併せてワーカーズ・コープ（労働者協同組合）の話し合いを通じて主体的に物事を決め自分らしく働くやり方を高く評価します。そしてそのことが、「社会的連帯経済」を促進し経済の民主化を実現することにつながるだろう、と述べています。

当法人ささえあい生協（グループ）は、これまで自分にとって社会にとっても「よい仕事」をやりたいと、地域に一つひとつ事業を興し、仲間を増やし、つながりの輪を広げ、ささえあいの関係を深めてきました。

しかし、ひとり暮らしやひきこもりなどで孤立したり、生活上の困難を抱えたりする方がまだ多数おられます。

これまで私たちは、フードバンクや生活支援、相談、成年後見などの地域活動に取り組んできていますが、さらに「心の距離」を近づけて支え合いたいと思います。

ささえあい生協の組合員・関係者の皆さん、15周年の機に、一人ではできないけれど、共に協力すればできるかもしれない様々な取り組みを、創意工夫し企画・提案のうえ実行していきませんか？ 今の時代・同じ社会に暮らす仲間として、自主・民主の協同組合の相互扶助の活動を、社会の主人公・主役としてそれぞれの役割を果たしていきましょう。

当生協本部に、ご意見やご提言・アイデア、ご質問・ご相談など、随時お寄せいただきたいと思います。当法人を、事業のみならず生活・活動のツールとして、今後とも積極的に利活用していただくよう、この法人組織は熱望しています。

これからも、共に支え合って……！

（理事長メッセージ）

15周年記念誌の制作に向けた組合員意向調査にご協力をお願いします

ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟
15周年記念事業実行委員会 記念事業グループ



ひきセン 齋藤 勇太



いしやま 金村 俊希



はよし 中川 貴裕



笑天街 竹内 征一

ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟は2006年2月24日に誕生し、来年2021年に15周年を迎えます。本来ならば15周年記念式典を開催し組合員の皆様と共にお祝いするところではございますが、新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から、残念ながら今回は式典の開催を中止することになりました。

しかしながら、皆様と共に歩んできた日々を形に残したいという思いから、『15周年記念誌』を制作する運びとなり、過日実行委員会を発足いたしました。つきましては、同封の別紙「15周年記念誌制作に向けた組合員意向調査ご協力をお願いいたします」のとおり、組合員の皆様のお考えをお伺いする意向調査を実施させていただき、20周年に向けた活動に活かして参りたいと考えております。

師走に向かう慌ただしい中を大変恐縮ではございますが、何卒ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。